

「笠郷地域創生自治町民会議」だより

敬老会案内、行政懇談会報告

笠郷地域創生自治町民会議会長 伊藤 博文

1. 令和6年度「敬老会」開催案内

社会福祉協議会笠郷支部

新種コロナが広がり始めていますが、令和6年度「敬老会」は開催します。「敬老会」対象の方には往復はがきで7月上旬に案内状をお送りしておりますので、ご多忙かとは存じますが、コロナ感染には自己防衛の上是非ご出席くださいますようお願いいたします。返信用ハガキにご記入の上、期限は過ぎていきますので速やかに返信をお願いします。

笠郷地区 敬老会 ご案内

- 日時 令和6年9月16日(月)午前10時～午後0時30分
(開場 ; 午前9時30分)
- 場所 笠郷小学校 体育館
- 案内 敬老会対象の方には、7月上旬に往復はがきで案内済です。
- 祝い品 「敬老会参加記念品」とし、出席者に対する記念品となります。

2. 令和6年度「行政懇談会」開催 概要報告 (7月18日19:00～、笠郷自治会館)

役員会

昨年に引き続き行政懇談会が開催されました。提出した質問(概要)に対する養老町の回答の概要は次の通りです。

テーマ1:「まちづくりビジョン」から見た笠郷地域創生自治町民会議への課題と対策

- ①当初の目標に対して6自治町民会議の設立に留まり顕在化してきた「10の戦略」に対しての課題と対策、「組織別行動計画」に相当する笠郷自治町民会議のパターン化しつつある事業計画に対してアドバイスをお願いします。
- ②自治町民会議間の情報共有・交換の機会を作るための横連携の場を提供検討願います。
- ③町役場から専門部会にはアドバイザーとして参加していただいておりますが、課題解決のため短時間でも笠郷自治町民会議(自治会館)へ常駐して頂きたいと考えていますのでご検討願います。

(回答1) コロナ禍において笠郷自治町民会議では、今やるべきことにフォーカスし創意工夫していただきました。防災用備蓄品の補充や地域の危険個所の確認、災害時を想定した伝達訓練等の実施等は好事例ととらえ他地区へ紹介させていただいております。事業計画については「地域まちづくり計画」にもとづいて作成いただき計画期間10年中7年が経過しています。次期計画策定には町としてもサポートさせていただきます。

(回答2) 自治町民会議間の横連携の場については、改めてご相談させていただきます。

(回答3) 町民会議6地区には担当職員2名を選定し、会議等に出席しています。職員の短期的常駐については業務上困難です。課題解決に向けては、それぞれの担当部署とご相談願います。

テーマ2:人口減、少子高齢化対策について

- ①養老町は「消滅可能性」市町村に選ばれています。工業団地もなく交通アクセスはあっても企業誘致が難しい中において、他市町と比較してどのような特徴ある人口減対策になりますか？
- ②学校・こども園の統廃合と空き教室の多機能化等、高齢者の健康維持施策等、年々人口減少少子高齢化する5～10年先の出生数を見据えた対応策をお聞かせください。

(回答1) 三世同居等、U・I・J ターンの住宅取得補助等、テレワーク施設開設を始め養老町への移住の後押しをしている。LINE 等を活用し町の魅力、イベント情報を発信している。子育て世代には、妊婦検診・乳幼児健診補助、育児相談、医療費無償化(高校生迄)等を実施している。各種の乳幼児支援制度を実施(町ホームページにて紹介)している。子育て世代を対象に養老鉄道利用券補助、高齢者を対象に養老鉄道利用券・各種運賃補助をしている。

(回答2) 笠郷地区の園の統廃合計画はない。「養老町学校のあり方検討委員会」を6月に設置、「児童数の推移を踏まえた小学校の適正規模・適正配置」と「それを踏まえた本町小中学校の将来像について」の2点が諮問された。これを踏まえ議論してゆきます。(令和12年度までの町内小学校入学者推計は裏面参照)

テーマ3:安全・安心なまちづくりについて

- ①空き家が1.9倍になり、樹木等の近隣への影響、治安悪化、災害時倒壊は復旧への妨げにもなります。業者が購入し外国人が居住する事例・空き家アドバイザー等を含め現状と今後の取り組みをお示しください。
- ②災害発生時への備品、各避難所・地域の防災グッズ準備はできていますか。
- ③水防倉庫の劣化備品(杭等)の更新進捗状況をご説明願います。

(回答1) 職員による現況調査結果、笠郷地区では64軒を確認、現在住所を登記等により確認中、アンケートを実施し台帳を整備し、相談に備えます。外国人等の居住拒否はできないので、地域で日頃から売買の相手先への注意喚起等をおこなう等の場をつくることをお願いします。サテライト空き家相談会事業を実施し空き家相談に協力します。雑木等

の影響については、瑕疵により賠償責任を負うため、所有者に適切な維持管理をお願いし業者紹介をしています。
 (回答2) 3,300 人の避難者が3日間生活できる量为目标にアルファ米・栄養食品・飲料水等を備蓄している。今後は備蓄品の更新をしてゆく。食料以外にも簡易トイレ、パーテーション等も整備している。但し大規模災害時には不足になるため「自助・共助」による取り組みもお願いします。
 (回答3) 水防倉庫備品については、本年1月に更新必要備品情報を頂き、現在順次交換作業中です。毎年度末に更新調査・更新作業をする予定。

質問意見1: 高齢化が進み、地区役員・ボランティア活動への参加等の減少防止対策への助言をお願いします。

(回答) 自治会・区への加入は任意であり強制はできません。しかし非常時には「共助」を進める上で非常に有効であり、地域の安全・安心にも役立つと考えます。転入される方には加入を促し地域と行政が連携しより良いまちづくりを進めます。役員の役割・責任を明確にし、負担軽減や簡素化できるところはないか見直し協議して頂いても良い。

質問意見2: まちづくりビジョンでは人を育てるため教育内容の質を高めるとありますが、どのような特色がありますか。

(回答) 小学校教育の特色は「ひとりひとりが輝く教育」を基本理念に推進しています。○第1に人権教育の推進で「よき見つけ」に代表されています。○第2に園小連携教育や特別支援教育の充実です。子どもの困りごとに寄り添う体制により不登校率が少ない結果となっています。○第3に「ふるさと学習」を始めとするキャリア教育の充実です。「東部の匠」「職業講和」が代表的な活動です。○第4は子ども議会によりプレゼンする力を養っています。

質問意見3: 現状の住民把握方法を、電算システムへ組み込む計画はありますか。

(回答) 町では世帯数を把握していますが、自治会などの加入世帯の把握はしていません。他自治体の事例を参考に、最適な方法を研究してゆきます。地区の登録については転入時等に本人にお伺いして登録しています。

(参考)

町内小学校 年度別入学児童数の推計

	令和6年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
養北小学校	37	43	30	23	31	30	27
広幡小学校	5	7	7	10	7	5	5
上多度小学校	12	7	14	7	11	5	6
池辺小学校	28	17	25	14	14	11	6
笠郷小学校	30	26	20	23	15	12	12
養北小学校	21	14	10	12	14	9	9
日吉小学校	11	13	11	8	10	11	7
全小学校	144	127	117	97	102	83	72

町内中学校 年度別入学生徒数の推計

	令和6年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
高田中学校	125	93	106	86	86	72	69
東部中学校	97	100	99	88	82	74	75
全中学校	222	193	205	174	168	146	144